

【基本方針】

「医療と福祉の連携をとり、介護員、相談員、ケアマネジャー、医師、看護師、栄養士、歯科衛生士それぞれの専門性、独自性、応用力を活かし、一貫したケアを行い入居者様が安全かつ安楽な生活を送ることが出来るように努める」

【年間目標】

- ① 褥瘡0を目指す
- ② 入院者0を目指す
- ③ 感染症予防と拡大防止
- ④ 看取り介護の質の向上
- ⑤ 経費削減に努める

【実践計画】

- ① 褥瘡0を目指す
 - ・ 職員間で利用者全員の褥瘡発生リスクを共有できるようにする
 - ・ 終末期における褥瘡を発生させない適切な寝具の選定、予防ケアを徹底する
- ② 入院者0を目指す
 - ・ 異常の早期発見に努め入院期間が短くなるよう受診判断を見極める
- ③ 感染症の予防と拡大防止
 - ・ 年間を通じ勉強会を行い、職員全員が適切な対応ができるよう徹底する
 - ・ 発生時は隔離対応、投薬、必要に応じて受診を行い、感染拡大や重症化を防ぐ（新型コロナウイルス・インフルエンザ発生時は臨時の感染症対策委員会を開催し適正な対応検討）
- ④ 看取り介護の質の向上
 - ・ 臨終までの過程を職員が把握できるよう指導し、連携を図る
 - ・ 状態に応じた細やかなケアの提供や指導をおこなう
 - ・ ご家族の意向に添った臨終やご家族による看取りが叶うよう連携、調整を図る
- ⑤ 経費削減に努める
 - ・ 衛生材料のコスト削減（購入、使用方法等）、個人購入の徹底